

低炭素社会の実現に向けて

～廃棄物処理と余熱利用～

廃棄物処理の目的は、生活環境の保全、公衆衛生の向上であり、それに不可欠な施設が焼却施設です。焼却施設は、衛生的処理という役割だけでなく、減容効果が高く埋立処分場の確保という問題を緩和してくれます。今回のシンポジウムは、売電のみならず地域暖房など廃棄物焼却による余熱を最大限活用して、高付加価値を持った焼却施設にすることで、収益を向上させ、また地元住民からも喜ばれる施設にしていくためにはどうしたら良いのか、皆さんと考えてみよう企画いたしました。

環境省からは廃棄物処理に伴う余熱利用の推進策について、学識経験者からは産業廃棄物焼却に伴う余熱利用実態や課題について、産廃処理業者からは余熱利用の具体的な事例について、自治体からはごみ焼却に伴う余熱の活用事例について、プラントメーカーからは焼却に伴うエネルギー回収を向上するための技術について解説していただき、その後「低炭素社会の実現に向けて～廃棄物処理と余熱利用～」について議論します。

大阪
会場

11/14(金)
13:30～16:30

御堂会館 第一展示室

〒540-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-11

東京
会場

11/21(金)
13:30～16:30

主婦会館プラザエフ カトレア

〒102-0085 東京都千代田区六番町15

【定員】 各会場100名（座席の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。）

【参加費】 協賛団体、協力団体会員：5,000円 非会員：10,000円 自治体職員：4,000円 学生：3,000円

主催：鳥取環境大学、(株)廃棄物工学研究所 後援：環境省(申請中)

協賛：(一財)日本環境衛生センター、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(公財)廃棄物・3R研究財団、
(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)プラスチック循環利用協会

プログラム

13:30 開会の挨拶・シンポジウム企画趣旨

鳥取環境大学 学長 高橋 一
鳥取環境大学 サステナビリティ研究所所長 田中 勝

13:50 基調講演：廃棄物処理と余熱利用推進策

環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部
廃棄物対策課 課長 和田 篤也 氏

14:10 特別講演：産業廃棄物の焼却と余熱利用

公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター
調査部長 谷川 昇 氏

14:40 事例紹介：産業廃棄物焼却施設の余熱利用

三光株式会社 代表取締役社長 三輪 陽通 氏

15:00 休憩

15:10 地方行政解説：ごみ処理と余熱利用

札幌市環境局環境事業部施設管理課
管路担当係長 犬伏 哲浩 氏

15:30 技術解説：廃棄物焼却に伴うエネルギー効率向上への技術

一般社団法人 日本環境衛生施設工業会技術委員会
委員長 宇野 晋 氏(大阪会場) / 副委員長 近藤 守(東京会場)

15:50 パネルディスカッション

「低炭素社会の実現に向けて～廃棄物処理と余熱利用～」

コーディネータ：田中 勝
パネリスト：上記講演者

16:30 閉会

お申込み方法

●ホームページ(<http://www.riswme.co.jp>)より参加申込用紙をダウンロードし、FAX 086-239-5303にて、お申し込みください

●E-mailでお申込の際は、裏面に記載してある申込内容をご記入の上、info@riswme.co.jp にお送り下さい

お振込先

●りそな銀行 芝支店(普)1490768 カ)ハイキブツコウガクケンキュウシヨ

※参加費は事前振込でお願い致します。また、お振込名について参加代表者個人名でお願い致します